

多摩永山中学校だより

令和7年度 第2号

多摩市立多摩永山中学校 編集・発行 高橋 篤
<http://schit.net/tama/jhtamanagayama>

「共に学ぶ意味」を再考する～生徒の皆さんとともに～

校 長 高 橋 篤

年度の初めに、学校敷地内の桜やチューリップの花が、本格的な春の訪れを感じさせてくれてから、2か月弱が経とうとしています。5月の連休も終わり、本校でも1年生の八ヶ岳移動教室、運動会といった大きな行事での「学び」から、今年度最初の定期考査に向け、教科等の「学び」に気持ちを切り替えて、取り組んでいく時期となります。

この機会に改めて「共に学ぶこと」の意義を一人一人の立場で考えてみましょう。平成26年のノーベル平和賞を受賞した、パキスタンの当時17歳、マララ・ユスフザイさんは、受賞演説の際に、以下のような話をしています。

「(前略) 私たちは、教育を渴望(かつぼう)していました。その教室に私たちの未来があったのですから。共に席に着き、読み、学びました。大きな夢を抱きながら着席したものでした(以下略)」

「学ぶことの意義～人はなぜ学ぶのだろうか」については、前述したマララさんの考えを含め、多様な考え方があると思います。文部科学省の資料「学ぶことの意味～あなたがもし中学校2年生に、なぜ学ぶのかと問われたらどう答えるか」には、このことを考える際の参考資料として、以下、もう一つ紹介されていました。

～山田洋次監督の映画「学校」で、卒業を控えた様々な境遇の生徒たちと、生きていく上での困難、そして幸せについて語り合う場面で、女子生徒が「それ(本当の幸せとは何か)を探すのが、本当の勉強じゃないかな」と語っています。～

紹介されていた、映画「学校」は、私が教員を志すきっかけの一つとなった映画です。ここでの「学校」は、「夜間中学校」が舞台となっていて、私自身が昔、夜間中学校で出会ったお二方(AさんとBさん)のことを思い出しました。

～私の親よりもはるかに年齢が高い在日外国人のAさんは、昼は仕事をして、夜登校してきます。女子生徒Bさんは、不登校で中学時代を過ごし、高校1年相当となった今、通信制の高校に入るべく、登校してきます。小学校低学年で使うドリルに一生懸命に取り組むAさん。自分の勉強が終わり、休み時間になってからAさんに寄り添い、「あ、Aさん、こっちは合っているよ。できるようになったんだ。すごいじゃん。でもこっちはね・・・」とほめて、教え、Aさんの頑張りをフィードバックする、私よりずっと若いBさん～(東京書籍の拙著部分から引用)

この原稿を考え、まとめている時、5月末の第3学年の進路に関するお便りに、担当の先生が「勉強の本当に一番大事な部分はどこだと思いますか？」について記載されている文章を目にしました。進路の実現に向けた具体が記載されていましたが、お便りの最後を「いつでもスタートのチャンスです!」と結んでいました。生徒の皆さんも、4月、5月の各教科での学び、学校部活動での学び、行事での学びを振り返り、それぞれの立場で「共に学ぶ」について再考し、時期を見据えてスタートさせていきましょう!生徒の皆さんだけではなく、私自身も、省み、学び続けたいと思います。

県版王



全国の「県版」(地域版)から、えりすぐりの記事を集めた夕刊企画「県版王」に、載せられなかった西日本のニュースを「県版王+」(プラス)としてお届けします(記事の情報は原則として各地域版に掲載時のものです)。



技華麗 学生くノ一参上★

三重

伊賀市の伊賀流忍者博物館でショーを披露している「伊賀忍者特殊軍団・阿修羅」に、東京都出身の明治大1年、小林由愛さん(18)が加入した。忍者アクションの経験者で、「スーパーくノ一 YUME」を名乗り、華麗なアクロバットと総躍をみせる。「海外公演に参加して、世界に忍者を広めたい」と夢を描いている。

明治大・小林さん「夢は海外公演」

サッカー・J3高知のMF小林里恵選手(23)の妹で、小学4年から器械体操



三重の浮田さん(左)、YUMEさん(中央)ら阿修羅メンバー(いずれも伊賀流忍者博物館で)

を始め、中高時は都内のアクションスクールでアクロバットや忍者アクションを

体験。高校3年時にオーストラリアへ短期留学し、訪問先の学校で忍者アクションを披露した経験に基づき、海外での忍者ショー上演を夢見るようになった。

「みえの国観光大使」として国内外で活動する阿修羅を昨夏に見学し、加入を決意。今年2月から四日市市の演習・浮田半蔵さん(65)方で特別を受け、2月中旬にはステージに登場した。3月からは正規メンバーとなり、大学の長期休みや連休のたびに東京から駆けつけて出演する。卒業後、伊賀市に移住するという。

3連休最終日の2月24日は、ショーで後ろ宙返りや側転宙返りを決め、高所からのジャンプ、くみひも斬などもこなし、観光客から絶賛を浴びた。

浮田さんは、昨年11月末に引退した「くノ一・未央」(諸辺未央)さん(37)の後継者として期待を寄せ、「スターになる素質十分」と見込む。YUMEさんは体力、スタミナに課題があるといい、毎日、走り込みや筋トレに打ち込み、「一つ一つの技を全て吸収するつもりで全力で取り組みたい」と意気込んでいる。



側転宙返りを決めるYUMEさん(高所からジャンプ)



「共に学び」続けている2人の本校卒業生を紹介します。

◎一人目は、明治大学1年、小林 由愛(ゆめ)さんです。本校在学中は、剣道部に所属していて活躍していました。また、器械体操も小学校4年生からはじめて、現在、「伊賀忍者特殊軍団・阿修羅」に所属し、夢は、海外公演です。側転宙返りや高所からジャンプしている由愛さんです。写真中央の女性が由愛さんです。これからがもっともっと楽しみです。

◎2人目は、由愛さんの兄、小林 里恵選手です。サッカー・J3高知のMFで活躍しています。

2人の兄妹は、それぞれの所属する集団の中で、まさに「共に学ぶ意義」を形に表現してくれています。

学び続けることは、本当に素敵ですね。

【部活動戦績等 3～5月】

◆囲碁◆

(令和7年3月・永山小学校6年生)

令和7年3月26日(水)

◎第13回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦 出場

<令和6年度下半期多摩市教育委員会表彰>

2年1組 山本 創樹

◆バドミントン部◆

◎多摩市民大会中学生シングルス大会

令和7年5月11日(日)

於：多摩市立総合体育館

男子シングルス 優勝

3年1組 矢口 鼓太良

◆ソフトテニス部◆

◎多摩市春季市民大会ソフトテニス競技

令和7年5月5日(月)

於：多摩東公園テニスコート

男子個人戦 優勝 中田陽仁 小野拓夢 ペア

準優勝 岡本 錬 布川翔梧 ペア

3位 伊野真幹 森田将希 ペア

女子個人戦 優勝 石垣美空 中野礼菜 ペア

準優勝 前川美琴 川崎実和 ペア